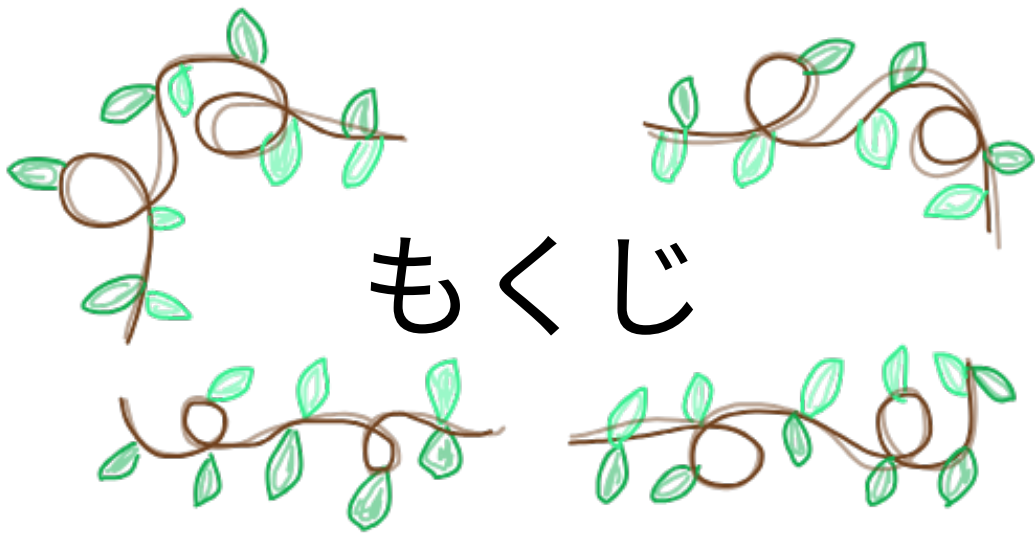


Aグループ 令和7年度

開

真鶴の魅力 海の環境を守ろう！





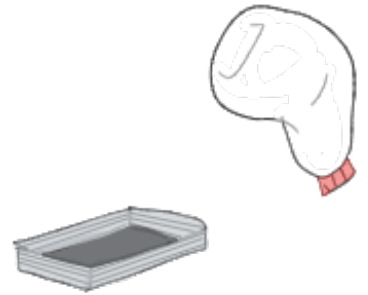
もくじ

- 1.もくじ
- 2.マイクロプラスチック
- 3.私たちが海の環境を守るためにできること
- 4.みなさんに伝えたいこと
- 5.私たちが知って思ったこと





海の環境を守ろう



〈マイクロプラスチック？〉

みなさんはマイクロプラスチックとは何か知っていますか？

マイクロプラスチックとは、5mm以下の小さなプラスチックです。そのため、魚が餌だと思って食べてしまい、人間の体に入ることがあります。

〈岩海岸に調査に行きました！〉

私たちは、実際に海にどれくらいのゴミがあるのか、どういうゴミがあるのか、ディスカバーブルーの人たちと調査を行いました。そこには、私たちが思っていたよりゴミがたくさんあって、海を私たちが汚してしまっていることがわかりました。海の環境を守るために私たちは自分たちが今できることを考えてみました。

※ディスカバーブルーとは

私たちが1年生の頃からずっと海について教えられている海のスペシャリストの方々です。



マイクロ
プラスチック



海の環境を守ろう

〈私たちが海の環境を守るためにできること〉



1. プラスチック製品をできるだけ使わない

私たちが普段使っているプラスチック製品ですが、それは海の環境に大きな影響を与えています。例えばマイクロプラスチックを魚たちが食べてしまい、それを私たち人間が食べてしまうなどがあります。



2. リサイクルする

ゴミはゴミでもペットボトルなどはリサイクルして、私たちの日常でまた使えるものに変えることができます。そしてリサイクルすることでゴミも減らすことができます。

3. ポイ捨てをしない

町に捨てられたゴミは風に乗って海に行くこともあって、そのゴミにはバクテリアがついていて海の底に沈んで何百年も海に残る。そして魚がマイクロプラスチックなどを食べてしまうことで大きな影響をあたえることがある。このように海にいろいろな影響を与えてしまうからポイ捨てをしないことが大切です。

4. ゴミ拾いをしよう

海にはたくさんのゴミが捨てられていてゴミが集まっている。そのゴミをへらすためにたまにでも良いからゴミ拾いをしていきましょう！

※私たちが海に行って実際に拾ったマイクロプラスチックの写真です。



みなさんに伝えたいこと ×

私たちがみなさんに伝えたいことは



ポイ捨てをしないで

ということです。

なぜ「**ポイ捨てをしないで**」ということ伝えたいのかというと、他のページでも書いたように、ポイ捨てされた※ゴミが風などによって最終的に海に着きます。ゴミは、海にたどり着くまでに割れたり、海で分解されたりして、マイクロプラスチック(5mm以下のプラスチック)になり、**海の生物の命の害**になります。

そしてそのマイクロプラスチックをたくさん食べた魚がもしかしたら私たちの食卓に来るかもしれません。だから真鶴町に来た人・町の人、一人一人が意識してポイ捨てしないようにしてほしいです。

※ゴミ→ここでは、主にプラスチックを指します。



出典 https://www.greenpeace.org/japan/news/story_49932/

私たちは総合の授業で、海の環境を守るためにどういう事が出来るかを考え、ゴミが問題になっていると考えました。そこで、私たちは実際に海岸でゴミ拾いをして、人間が捨てたゴミが多い事、ゴミが海に着かないようにポイ捨てをしないなどの対策をしないといけないと思ったから、私たちはこのパンフレットを作りました。

そのためにみなさんが海の環境を守るためにできること

1. マイバッグ・マイカゴを使う

理由 買い物をした時ビニール袋だと、いずれいらなくなる場合があります。(ビニール袋はリサイクルなどをすると他の物になります。)
(マイバックとは買い物の時レジ袋の代わりに使う買い物バッグのこと)

2. 無駄な物は買わない

理由 無駄な物を買くとゴミになるし、食べ物だった場合フードロス(本来食べられる物を捨ててしまうこと)にもなってしまいます。

3. ゴミが出たら極力自分で持ち帰るorゴミ箱に捨てる

理由 海など色々な場所に行った時ゴミが出てしまいます。ですがそのゴミを分別し持ち帰り、自分の家で分別して捨てるよう心がけましょう。なぜなら、公共施設などのゴミ箱(特にお祭りの会場にあるゴミ箱)は、溢れてしまって、ポイ捨てをする人が出る確率が高くなります。しかし、みんなが持ち帰ればポイ捨ても減り、不快な思いも少なくなります。

4. ポイ捨てをしない

理由 上の伝えたいことと言った「ポイ捨てをしない」理由はそのまま、ポイ捨てをしたゴミが風にのり海にたどり着き、海の生物の害になってしまうからです。

真鶴の自然を守る為にも上のことを意識して観光・生活をみんなですていしましょう。

海の環境を守ろう

私たちが思ったこと

メンバーA

岩海岸にゴミ拾いをしに行き、ゴミが多く捨てられていることを知りました。そのゴミの中にはプラスチックのゴミが多くあり、そのゴミは今海で深刻な問題になっている「マイクロプラスチック」にも深く繋がっているということを知りました。

プラスチックだけではなく他にも人工物のゴミが多く捨てられているということを知り、今の私たちができる海のゴミを減らす活動、例えば**ゴミ拾いなどを行いゴミを減らして、綺麗で豊かな海にしたい**と思いました。

メンバーB

ディスカバークルーの方々と岩海岸に一緒に行きゴミが多いことを改めて知りました。その中でもプラスチックのゴミが多く、今、海で問題になっているマイクロプラスチックに繋がっているということを知りました。

プラスチックが海の生き物の命に害を与えることを知ったので、これから今の私たちにできることをやっていきたいと思いました。

※例えば↓

1. **ビニール袋ではなく、マイバックを持っていく**
2. **無駄に物を使わない、買わない** など

メンバーC

岩海岸にゴミを拾いに行った時に人工物が多いと感じました、マイクロプラスチックが私たちのポイ捨てなどが原因だということを知ったので、**私たちが改善しなければならない**と思いました。

メンバーD

岩海岸に行った時人が作って捨てたもの多くて特にお菓子のゴミやマイクロプラスチック、タバコのゴミが多かったからそれを減らすために**ゴミ拾い**をしたいです。

メンバーE

岩海岸に行きゴミ拾いをしてみて、人が作ったゴミが多かったし、そのゴミが海の生物の害になることが分かった。

ポイ捨てしたゴミが風で飛んできて海の近くにきたり、海の中でゴミが削れて5mm以下のマイクロプラスチックになって海の生物の命に関わる害になることが分かりました。

メンバーF

実際に海にゴミ拾いに行くと、想像していた以上にゴミが多く、マイクロプラスチックもたくさん見つかった。しかも、この日はまだ少ないという言葉に驚愕した。そして、プラスチックを作っているのは自分たち人間で、捨て方をきちんとしないことが原因で、海や砂浜に流れたり飛んだりしてきていることがわかりました。さらに海に入ったら、魚が飲み込んだり、絡まったり、有害な物質が流れ出たりすることがわかりました。これからは、プラスチックゴミを減らすための活動をしていきたいと思いました。

